

令和3年度事業報告書

1 総会

◎第9回定時総会

令和3年5月28日（金）14時から、第1種会員4団体すべてが出席し、水産庁増殖推進部黒萩部長、栽培養殖課 桜井課長、濱本係長、長谷川係員臨席のもと第9回定時総会を開催し、次の議案について審議し、議決した。

第1号議案 令和2年度事業報告に関する件

第2号議案 令和2年度貸借対照表の承認に関する件

第3号議案 令和2年度正味財産増減計算書の承認に関する件

第4号議案 その他

議案の審議状況は、次のとおりである。

第1号議案 令和2年度事業報告に関する件

令和2年度事業報告書(案)により、事業の概要を報告、説明した後、定款第38条の規定に基づき、本件の承認を議決した。

第2号議案 令和2年度貸借対照表の承認に関する件

令和2年度末時点での貸借対照表について報告、説明した後、令和3年5月19日に監事監査を受け、適正且つ、妥当である事を確認した旨を報告、定款第13条の規定に基づき、本件の承認を議決した。

第3号議案 令和2年度正味財産増減計算書の承認に関する件

令和2年度末時点での正味財産増減計算書について報告、説明した後、令和3年5月19日に監事監査を受け、適正且つ、妥当である事を確認した旨を報告、定款第13条の規定に基づき、本件の承認を議決した。

第4号議案 その他

特になし。

2 理事会及び理事協議会

令和3年度の理事会の開催状況は、次表のとおりである。

回	開催日時	開催場所	審議事項等
1	令和3年 5月28日(金)	リモート会議	審議事項 ・令和2年度決算(案)の承認について 協議事項 なし 報告事項 なし 事務局報告
2	令和3年 5月28日(金)	リモート会議	審議事項 ・今年度「真珠連絡会」で行う事業の継続について 協議事項 ・CIBJOパールブック、パールガイドに対する 対応について ・2025年大阪万博に対する取り組みについて 報告事項 ・令和3年度事業計画書の一部加筆修正について 各団体、各委員会及び事務局報告
3	令和3年 7月16日(金)	リモート会議	審議事項 なし 協議事項 なし 報告事項 なし 各団体、各委員会及び事務局報告
4	令和3年 8月17日(火)	リモート会議	審議事項 なし 協議事項 ・今年度のCIBJOへの取り組み方について ・へい死・生産状況と今後の振興会としての対策に ついて 報告事項 なし 各団体、各委員会及び事務局報告
5	令和3年 9月28日(火)	リモート会議	審議事項 なし 協議事項 ・銀座松屋「ENEY」お披露目イベントでの発信 に係る対応について ・今年度CIBJO総会の議題への対応について 報告事項 なし 各団体、各委員会及び事務局報告
6	令和3年 11月2日(火)	リモート会議	審議事項 ・「アコヤ貝人工採苗事業計画」(全真連、愛媛県漁 協提案)について ・日本真珠輸出組合への委託調査発注について ・H/Lに係る撮影機材の購入について 協議事項 ・日本ジュエリー協会連携事業「真珠連絡会」に係 る「Magical Pearl」成果物の普及方法について ・銀座松屋「ENEY」のその後について

			報告事項 ・CIBJO Pearl Steering Committee 会議報告 各団体、各委員会及び事務局報告
7	令和4年 3月30日(水)	リモート会議	審議事項 ・令和3年度「生産対策費」「地域事業費」に係る愛媛県漁協からの申請の取り扱いについて ・令和3年度「生産対策費」「地域事業費」に係る日本真珠輸出加工協同組合からの申請について ・令和3年度「生産対策費」「地域事業費」に係る三重県真珠養殖連絡協議会からの申請の取り扱いについて ・令和4年度における日本ジュエリー協会との連携事業について ・真珠新聞2022広告料、振興会のページに係る支出について ・ジャパンプレシヤス広告記事に係る支出について ・令和3年度「生産対策費」「地域事業費」に係る愛媛県漁協からの申請について(報告) ・令和4年度収支予算書(案)について 協議事項 ・令和3～4年度農林水産省「品目団体輸出拡大支援事業」に係る取り組み状況について ・CIBJO「パールブック」の翻訳について ・事務局の人員補強について ・大阪万博への対応について 各団体、各委員会及び事務局

(注) 詳細は、既配布及び振興会事務局設置の議事録参照

3 事業の概要

[実施事業等会計]

1 市場開拓及び需要拡大等支援事業

(1) 展示会等への出展による市場開拓・需要拡大事業

① 国内国際宝飾展出展事業

ア 第25回神戸国際宝飾展(IJK2021) 主催:RX Japan(株)

(令和3年5月13日(木)～15日(土) 於:神戸国際展示場)

振興会は宝飾展を特別後援するとともに、会場内振興会ブースにおいて、真珠検定事業の取り組みを紹介した。

イ ジャパンジュエリーフェア2021(JJF2021) 主催:(一社)日本ジュエリー協会・インフォーママーケットジャパン(株)(令和3年11月24日(水)～26日(金) 於:アイメッセ山梨)

振興会ではフェアを後援した。また、ジュエリーデザインアワード2021において、特別賞として日本真珠振興会会長賞の授与を行った。

ウ 第34回国際宝飾展（IJT2022）主催：RX Japan(株)
（令和4年1月12日（水）～15日（土）（於：東京ビッグサイト）
振興会は宝飾展を後援するとともに、会場内振興会ブースにおいて、日本産アコヤ真珠のすばらしさをPRするためのDVDの放映、パールプリンセスの王冠の展示、真珠検定の説明・相談を行った。

（2）地域活性化事業

- ① 愛媛県・真珠PRレディ募集事業 実施：愛媛県漁業協同組合
（令和3年7月11日応募締め切り、9月9日最終選考、任期11月下旬より1年間）
「全国一真珠が好きで真珠に詳しい愛媛県民育成」をねらい、愛媛県産アコヤ真珠の広告としてPRレディ「ミズ・オンドアール」を選出する事業を支援した。
- ② 真珠婚・おかげ参り事業 実施：真珠婚国際協会、三重県真珠養殖連絡協議会
（令和3年11月22日（月）於：伊勢神宮内宮）
夫婦が結婚30周年を迎える11月22日を「真珠婚の日」と定め、この日に夫婦が絆を強め、幸せな家庭生活を願う証として、夫から妻に真珠を贈ることを普及させることを目的とした事業を支援した。
- ③ 真珠供養祭 実施：三重県真珠養殖連絡協議会
令和3年10月22日（金）三重県、賢島・宝生苑において開催された真珠母貝供養祭を支援した。

2 品質向上及び供給安定化等支援事業

（1）品質向上事業

① 品評会関連

ア 第46回全国真珠品評会、第19回全国花珠真珠品評会

振興会与全国真珠養殖漁業協同組合連合会の共催により、農林水産祭参加行事として、二つの品評会を実施した。

第46回全国真珠品評会（浜揚げ珠）

審査会 令和4年 3月 1日（火） 於：伊勢・真珠会館

表彰式 令和4年 3月24日（木） 於：伊勢・真珠会館

農林水産大臣賞1点、水産庁長官賞2点、日本真珠振興会長賞等団体賞3点を選考し、表彰した。

第19回全国花珠真珠品評会

審査会 令和4年 3月 1日（火） 於：伊勢・真珠会館

表彰式 令和4年 3月24日（木） 於：伊勢・真珠会館

農林水産大臣賞1点、水産庁長官賞2点、日本真珠振興会長賞等団体賞3点を選考し、表彰した。

イ 愛媛県浜揚げ真珠品評会

愛媛県漁業協同組合主催の令和3年度愛媛県浜揚げ真珠品評会は、新型コロナウイルス蔓延防止の観点から中止となった。

ウ 第14回三重県真珠品評会 実施：三重県真珠養殖連絡協議会

（令和3年12月16日（木） 於：志摩市商工会館）

三重県内産浜揚げ真珠のうち、品質の優秀なもの51点をエントリーし、展示公開をするとともに、その中で特に優秀な7点を選び表彰する事業を支援した。

② 養殖技術向上関連

ア 自動観測ブイ管理事業 実施：三重県真珠養殖連絡協議会

(令和3年4月1日(木)～令和4年3月31日(木)、於：英虞湾央、湾奥、的矢湾、五ヶ所湾)

県下の真珠養殖漁場4カ所に設置された自動観測ブイで、1時間ごとのリアルタイムの漁場環境情報をパソコン、携帯電話を通じ養殖業者に発信する事業を支援した。

イ 宇和海水温観測システム 実施：愛媛県漁業協同組合連合会ほか

(令和3年4月1日(木)～令和4年3月31日(木)、於：愛南町内海塩小島近海)

内海、塩小島に設置している水深60メートルの水温計を活用し、日々の養殖管理に役立つ事業を支援した。

[その他会計]

1 真珠検定事業

従来曖昧だった真珠に関する価値基準や諸説を整理し、真珠の美しさをより多くの人に伝えることを目的として、平成26年度から真珠検定事業を実施。令和3年度は以下のとおり事業を実施した。

① 講座等実施状況

- ・ 一般消費者向け はじめての真珠講座の開催

より広く一般消費者に真珠の魅力に触れてもらうため、基本的な内容を短時間で伝える講座として平成26年度より開始され、累計開催回数は397回となった。

- ・ 学生向け SA (シニアアドバイザー) 検定講座初開催

令和3年度は新たに学生向けの講座をヒコミズノ東京校・大阪校で開催した。受講者48名。学生SA資格登録者数36名。

- ・ JA (ジュニアアドバイザー) 講座の開催

平成30年度よりeラーニングを開始し、令和3年度は113名が受講した。

- ・ SA (シニアアドバイザー) 令和3年度は12回開催、受講者数は51名だった。現在、SA資格登録者総数242名。

- ・ SP (スペシャリスト) 認定試験

販売経験3年以上かつSA取得後3年以上の実績を持ち、SAフォローアップ研修を5回以上受講した知識・経験・倫理・選別眼を併せ持つ真珠のスペシャリストの認定試験である。令和3年度は、3名が受験し1名が合格した。現在、SP資格登録者総数6名。

② オンライン教材、セミナーの実施

- ・ SA限定ダウンロード資料(1)アコヤ貝に関する養殖の現状や今後の見解などレポート、(2)真珠指針2020、(3)養殖屋さんに聞きたいこと Q&A、(4)SA(SP)在籍店バナーを配付した。

- ・ オンライン定例会を5回実施した。

第3回：真珠指針2020要点解説

第4回：基礎調査を読み解く

第5回：若手養殖屋さんと話そう

第6回：二十歳のパール(Magical Pearl)プロモーション解説

第7回：新春SA交流会 入札ビデオレター紹介

- ・ SAオンライン実習を12回開催した。
- ・ SA取得オンライン相談会を1回開催した。
- ・ SP取得説明会(倫理研修)を2回実施した。

③ その他活動

- ・ SA資格取得に関する説明相談会をIJT、IJKの振興会ブースにて開催した。
- ・ SPとの意見交換チャットを開始した。販売現場のニーズ理解・必要ツールや教材リサーチ。
- ・ SA限定メールマガジンを18本配信した。

2 日本真珠国際競争力強化推進事業

- ・ 令和3年度の標記事業補助金の交付決定を受け、真珠産業連携強化協議会（以下「協議会」という。学識経験者・事業者・真珠関係自治体・研究機関・国により構成）及び関係3部会（生産開発部会、販売・マーケティング部会、及び輸出拡大戦略部会）を設置した。
- ・ 第1回協議会を令和3年7月8日（木）に、第2回協議会を令和4年3月25日（金）にそれぞれ開催したが、いずれも新型コロナウイルス蔓延防止の観点からリモート会議で実施した。第1回協議会では、①会議の推進体制の決定と会長・部会長の選出、②行動計画の改定作業に関する協議、第2回協議会では、①本年度の各部会活動報告、②次世代中核的人材育成事業の活動報告、③作業行動計画の評価と改訂作業を実施した。
- ・ 生産開発部会は年間2回開催し、①水産研究・教育機構が保有するアコヤガイの塩基配列情報等を対象試料とした遺伝系統解析（委託先：沖縄科学技術大学院大学、東京大学大学院）、②真珠の表面たんぱく質の劣化計測事業（委託先：三重大学大学院）、③真珠養殖生産における生産管理ポイントの整理と検討（委託先：日本エヌ・ユー・エス株式会社）を実施した。
- ・ 販売・マーケティング部会は年間2回開催し、①「真珠指針2020」の取りまとめと関係業界との調整、②真珠に対する消費者啓蒙を目的とした動画の作成を実施した。
- ・ 輸出拡大戦略部会は年間2回開催し、①農林水産省「農林水産物・食品輸出促進対策事業」における品目団体指定に向けたヒアリングへの対応、②輸出事業計画書の作成、③農林水産省「農林水産物・食品輸出促進対策事業」のうち「品目団体輸出力強化緊急支援事業に係る課題提案書の作成、④農林水産省「農林水産物・食品輸出促進対策事業」のうち「品目団体輸出力強化支援事業に係る課題提案書の作成等を行った。
- ・ 真珠産業の次世代を担う人材が取り組む活動を支援する「次世代中核的人材支援事業」を実施し、真珠養殖における技術試験、リサイクル等に関する6グループの活動を承認し、それぞれのグループ活動を支援した。
- ・ これらにより、関係機関の連携強化を図りつつ、真珠産業及び真珠に係る宝飾文化の振興に向けて全国的な取組みを実施した。

3 輸出強化緊急支援事業（品目団体）

前述した農林水産省「農林水産物・食品輸出促進対策事業」のうち「品目団体輸出力強化緊急支援事業の予算を使って、オートリー社の次世代自動撮影システム「2D-Photo Bench 150」を2台購入し、神戸・真珠会館と伊勢・真珠会館にそれぞれ設置し、供用を開始した。今後は、消費者の真珠品質に対する啓蒙活動、及び越境ECへの支援ツールとして活用する予定である。

4 普及啓発事業

① 「振興会のページ」の作成と配布

振興会の事業活動について、真珠業界関係者に理解を得るため、伊勢新聞社の協力の下、当該新聞社が発行する「真珠新聞」に「振興会のページ」を作成、掲載し、同時に第1種会員、第2種会員、日本真珠再生特別事業負担金拠出者等に配布した。また、国内宝飾展会場でも配布した。

- ・ 令和3年4月11日号においては、日本真珠振興会が令和2年度に取り組んだ「日本真珠国際競争力強化推進事業」において取り組んだ事業の概要と成果の紹介、「SA(SP)在籍店」POPとステッカーの配布について、真珠検定で実施したSA限定フォローアップ研修の動画教材やSA限定資料の紹介、「真珠の映像技術の標準化に関する研究会」の設置について掲載した。

- ・ 令和3年8月1日号においては、令和3年度「日本真珠国際競争力強化推進事業」の第1回真珠産業連携強化協議会において協議された内容の紹介、下部部会である「生産開発部会」、「販売・マーケティング部会」、「輸出拡大戦略部会」において今年度に取り組む課題や取り組み方針、真珠検定の活動について掲載した。
 - ・ 令和4年1月1日号においては、日本真珠振興会・大月会長の新年インタビュー、2021年日本真珠再生特別事業負担金に関する拠出者名簿、次世代中核的人材支援事業参加グループ名、アコヤ貝の人工採苗事業の助成について、地域事業の活動報告、真珠検定委員会の活動報告等について掲載した。
- ② 矢野経済研究所発行「JAPAN PRECIOUS」への広告記事の掲載
- ・ No.102（2021年 Summer 号）には、令和3年度第2回真珠産業連携強化協議会における審議内容と「生産開発部会」、「販売・マーケティング部会」、「次世代中核的人材支援事業」の報告、「上海市民500人の真珠に対するアンケート調査結果」、等について掲載した。
 - ・ No.103（2021年 Autumn 号）には、令和3年度の真珠検定事業に係る情報として、第3回SA(シニアアドバイザー)の定例会の内容、学生向けSA検定講座の実施、SA検定講座実習日、「真珠指針2020」の発刊、パールキャンペーンの開催等を紹介した。
 - ・ No.104（2021年 Winter 号）には、第5回SA(シニアアドバイザー)の定例会「若手養殖屋さんと話そう」の実施内容について掲載した。
- ③ 「真珠連絡会」事業
- 日本国内における真珠の需要を掘り起こしていくための取り組みを強化するため、日本ジュエリー協会との連携事業「真珠連絡会」において、ツイッターを使った消費者PR事業「Magical Pearl – オシャレの偏差値はパールで上げる –」プロモーションを展開した。
- ④ 銀座松屋の合成ダイヤモンド専門店「ENEY」のお披露目イベントにおいて、合成ダイヤモンドと養殖真珠を同類とする発言があったことから、弁護士事務所を交えての協議、作成済みの「真珠指針」との照合を経て、発言の撤回を求める書面を作成・送付した。その後、銀座松屋から発言の撤回とHPからの関係文章の削除が行われ、養殖真珠に対する誤解は解消された。
- ⑤ 一般消費者からの質問、相談への対応
- メールや電話による一般消費者からの質問や相談、消費者センターからの問い合わせに対応した。
- ⑥ ホームページの更新等

[法人会計]

- ① 総会、理事会の開催（前掲）